

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（迫町）

(平成29年1月末現在)

分野	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回答
①議会運営、議員	タブレット端末利用もいいが、全員の議員が活用できるのか。できない人はどうするのか。	議会	研修会等を開催し、全員が活用できる体制を構築していきます。
	経費削減のため、タブレット端末を使用するのは大変良いことだが、セキュリティはどのようにしていくのか。	議会	個人ごとに、パスワードを設定し厳重に管理しています。
②意見交換会	意見交換会が、コミュニティ単位から町域単位になったのは何故か。	議会	ある程度人数がいた方が、活発な議論となると考えたためです。
③庁舎建設	庁舎建設の問題は何時まで議論し、結論はいつに。	総務部 総務課	特別委員会で候補地選定や、建設の是非について議論中です。
④シティプロモーション	シティプロモーションを進めるには、他地域との交流人口を増やすのが一番の政策ではないか。	企画部 企画政策課	シティプロモーション事業として、委員会で継続調査を行います。
	シティプロモーションはあまりなじみがない。市に問い合わせるとホームページを見て下さいと言われたが、見る手段がない人には理解できない。	企画部 企画政策課	
	シティプロモーションはどのような方法で行っていくのか。栗原市では1億円を使い、マスコミを利用し、観光客誘致に成功し、4割の増客となっている。行政・議会・民間が三位一体となってすすめていくべきではないか。	企画部 企画政策課	
	登米市のシティプロモーションは、もっと山・川・自然を生かしたセールスをしていくべきではないか。	企画部 企画政策課	
⑤コミュニティ、集会施設、公民館	新田地区で開拓70周年記念碑を造りたい。90万円ほどかかるが、市からの補助金などは活用できないか。	企画部 市民協働課	担当部署へ確認したところ、「地域づくり事業に関しましては、各コミュニティ組織で策定している「地域づくり計画」に基づき、「がんばる地域づくり応援交付金」を財源として実践していただいています。要望がある事業につきましては、地域づくり事業に該当するのであれば、「がんばる地域づくり応援交付金」を活用していただきたいと思います。」と回答がありました。
⑦公共施設、跡地利用	旧米山高校跡地はどのように活用するのか。費用対効果はあるか。	企画部 企画政策課 建設部 住宅都市整備課	担当部署へ確認したところ、「旧校舎と敷地については、学校法人 三幸学園（東京都）が、主に通信制高校を運営することとしており、年間約600万円で貸付ておりますが、事業内容は「人づくり」に重点が置かれておりますので、事業効果が見えてくるまでは時間を要するものと考えております。 また、人口減少への対策の一つとして、移住・定住希望者に対し良好な住環境を提供することで、市外からの移住や市外への転出抑制を図るための宅地造成、分譲地として活用します。 なお、道路をはじめ公共施設部分を除き分譲宅地に係る費用については、販売価格に転嫁する予定であり回収できるものと見込んでいます。」と回答がありました。
	新田地区総合運動公園の中のトイレが古く、利用できない。改善してほしい。	教育委員会 生涯学習課	担当部署へ確認したところ、「新田総合運動場のトイレにつきましては、簡易水洗化するよう検討しています。」と回答がありました。
⑩病院	病院の累積赤字が100億円を遥かに超えている。責任は誰にあるのか。	企画部 財政課 医療局 企画課	市長、議会ともにあると考えています。黒字転換を目指し様々な努力をしていきます。
⑬放射能汚染	汚染稲わらの問題はどのようになったのか報告がない。	産業経済部 農産園芸畜産課	担当部署へ確認したところ、「指定廃棄物の処理については、最終処分場の詳細調査候補地である3市町が候補地返上を表明したことから、市町村長会議で一定の方向性が出るまでの間、現地調査を一時見合わせることとなりました。 現在、宮城県では8,000ベクレル/kg以下の汚染廃棄物の処理を優先して進めることとしており、この汚染廃棄物の処理が進むことで、指定廃棄物の処理に向けた取り組みが進められると考えており、最終処分の方方向性が決まり次第、国・県からの情報を示してまいります。」と回答がありました。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（迫町）

(平成29年1月末現在)

分 野	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
㊸財政	病院事業と下水道事業は、毎年数億の一般財源を投入しているが、改善の見込みと今後の改善策は。市長の責任ではないか。	医療局 企画課 建設部 下水道課	担当部署へ確認したところ、「下水道事業のうち、農集排水事業は平成29年度で完了し、公共下水道事業は平成37年度の完了を目指して整備中であり、計画区域以外では市設置型の合併処理浄化槽を設置していますが、公共下水道事業が完了すると建設投資は合併浄化槽の設置と施設の更新等が主な事業となります。 また、現在までの建設投資に係る起債の償還金についても、平成32年度以降は減少していく計画となっています。 しかしながら、維持管理費は整備が進むことにより増加傾向にあることから、今後も安定的で持続可能な事業となるよう経営の健全化と施設の有効利用を図るため、未接続世帯の接続促進による使用料の増収や老朽化施設の計画的な長寿命化対策等での維持管理経費の平準化についての取り組みを進めてまいります。 また、公営企業として自らの経営状況を正確に把握したうえで、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むため、平成32年度からは下水道事業に地方公営企業法を適用することとしています。 次に、病院事業に対する一般会計からの負担については、国が定める基準及び市病院事業中長期計画に基づき行っておりますが、医師不足の解消や、経営基盤の安定化に向けた経営改革に取り組みながら、その縮減に努めていくこととしております。」と回答がありました。
㊹その他	登米市には多くの山林がある。この活用をすべきではないか。	産業経済部 産業政策課	登米市は市全体面積の4割以上が山林です。他市の取り組み状況を調べるなどし、有効な活用ができるよう政策に生かしたいと考えます。